

よいことの
ために
手を取りあおう

週報 Weekly Report 2025-2026

事務所 三重県伊賀市西明寺 2756-104 ヒルホテルサンピア伊賀内
TEL 0595-24-4650 FAX 0595-24-4656
例会 毎週木曜日 12:30 第3週例会 18:00 点鐘
ヒルホテルサンピア伊賀 TEL 0595-24-7000



■URL : <http://www.ict.ne.jp/~u-eastrc/>
■e-mail : u-eastrc@ict.ne.jp

【本日の例会 第2099回 2026年2月19(木)】

開会点鐘) 18:00
RCソング) 四つのテスト
歌唱指導) 春よ、来い
ゲスト・ビジター紹介)
誕生月のお祝い
出席報告
会長の時間
幹事報告・委員会報告・同好会報告・出席報告
ニコニコボックス報告
閉会点鐘) 19:00

【前回の例会 第2098回 2026年2月14日(土)】

開会点鐘) 8:00
RCソング) われらの生業
会長の時間
幹事報告・委員会報告・同好会報告
出席報告) 67.89%
閉会点鐘) 8:15
本日の行事) 移動早朝例会
第4回U-9上野東RCカップ開催

【早朝移動例会／於：西小学校 俳聖ホール】



「会員の皆様の願いが通じて絶好のサッカー日和です!」と、爽やかな笑顔で手を振る木津八右衛門会長。(写真 左)

「会員の皆様、昨日からの準備及び設営ありがとうございました。」と、すっかり暗くなったグラウンドにて語る宮岡秀樹幹事。(写真 右)



【懐かしいもの…… 見つけました】

6年前の出後年度(2019-2020)に地区補助金事業で青少年育成を目的として地域の子供たちを招いて“手裏輪大会”開催した。さらに各小学校に手裏輪(写真右)を上野東RCより寄贈した。そんなクラブにとって懐かしいものを西小学校の俳聖ホールにて見つけた。子供たちの胸に和(輪)の心を手裏剣の如く刻んでくれただろうか。



【本日の行事／第4回上野東ロータリークラブカップ】



大会前日の夕刻、大勢の会員の皆さんが設営、準備の為に西小学校に集まってきた。サッカーゴールの部材を運動公園までトラックで取りに行き小学校まで持ち帰り組み立てる。アート工房様が搬入した大会本部用テントを組み立て仮設営しておく。グラウンド上では既存のサッカーゴールを移動したり、砂を土のう袋に詰め込みゴール固定の為に準備しておく。またグラウンド上の道具倉庫やブランコボールが当たっても大丈夫なように対策処置をしておくなど、終わった頃にはグラウンドは夕闇に包まれていた。

翌2月14日(土) 第4回上野東ロータリークラブカップが西小学校グラウンドにて盛大に開催された。参加チームは上野、阿山地区合わせて総勢10チーム、参加選手人数がU-9、U-8 合わせて約120人だ。

天候は絶好のサッカー日和だった。午前8時の早朝例会の頃は2月らしく冷え込みも厳しかったが、大会が始まる頃には気温がグンと上昇しプレーする子ども達の熱気と共にグラウンド上の気温はさらに上がり2月らしくなく汗ばむほどであった。

8:45 開会式では、木津会長、くノ一理事長、伊賀市サッカー協会代表がそれぞれ挨拶をされ、ルール説明の後、9時過ぎより、U-9くノ一サッカー教室が開催され子供たちの真剣な眼差しが印象的であった。

10:00 グラウンド上では熱戦が繰り広げられ、子供たちの鍛えられた“心・技・体”で大会は最高潮に達した。午後1時半過ぎ、大会は無事に終了、閉会式では鈴木会長エレクト、伊賀FCくノ一代表が挨拶された。表彰式では瀧川まさ子さん司会のもと、各優勝チーム、入賞チーム、優秀選手に木津会長よりトロフィー、記念品が手渡された。

優勝チームの喜び、優勝出来なかったチームの悔しさ、優秀選手に選ばれた喜び、選ばれなかった選手の悔しさ、勝負なので様々な思いが交錯するであろう。しかしながら、こういった学校の勉強以外での体験が子供たちの“心・技・体”の育成に役立つことができればロータリークラブとすれば、これほど喜ばしいことはない。

くノ一現役選手と共に(写真右)



【突撃！会社訪問／かんべ土地家屋調査士事務所 様】

3代100年……祖父が現在の上野西町に司法書士、土地家屋調査士事務所を開業して昨年で100年を迎えた。ご兄弟で司法書士と土地家屋調査士事務所を継承し3代目となった。土地家屋調査とは？不動産の状況を把握する為に調査、測量し土地建物の境界を明確にすることだそうだ。「国民の所有権を守る為に大事な役割を果たしてるんだよ。」と、入会30年目の神戸君は言う。心配事もあると言う……「やっぱり後継者のことかな。それと都市一極集中やなく地方が活性化してくれたら土地や不動産もっと動くんやけどなあ。」昔の土地神話はどこへ行っただろなあ～と、言いながらも、「不動産のご相談ならいつでもどうぞ！」とPRも怠らなかった。



【ロータリアンの近況／丸山治 君】

奥様がご逝去されて丸6年、今春で7回忌を迎える。同居されていたお母様も亡くなられ、「子供らは近くにおるけど、だっ広い家に1人になったわ。」次世代への会社の引継ぎも今春でけじめをつけるつもりだと言う。そんな周囲の変化の中で、「ワシなあ、残りの人生を如何に生きるべきかを時々考えるんや。まだ身体が動くんで時々ゴルフもしてるけどホントわな車の運転が一番好きなんや。やっぱり運送屋やな」ここ数年、車で一人旅をしている。思い立ったら、フラッと計画も立てず、有名な観光地や都市部には行かず、そして車中泊。行先の情報収集もスマホではなく、そこら辺を歩いている綺麗な女性に尋ねると言う。「この歳になったら怪しまれへんのや。」時間に追われないのが何よりだと言う。入会34年目の丸山君、5分の予定が30分以上語ってくれた。



【突撃！会社訪問／㈱関東電化ファインテック 様】

森下弁柄工業から㈱関東電化ファインテックに社名変更し代表を後進に譲り現在は顧問として週に3回出社し弁柄の調色(色合わせ)に勤める日々である。弁柄の調色は経験を積んだ熟練が必要だそうだ。色合いは100種類以上ありその中でも特に色合わせの難しい重要品目20種類を弁柄を熟知する出後君が担当している。納品先には常に同じ色の弁柄を出荷しなければならないので調色には神経を使うがやりがいもあるという。社長時代のように自分の意見が通らないことも多々あるが、最後のご奉公と一念発起して頑張られる入会24年目の出後君、アツいや、会長エレクトであった。

口紅にも弁柄が ⇒



【突撃！会社訪問／㈱伊賀協同運送 様】(最終回)

佐那具にある会社を訪ねた。赤い外壁の3階建ての事務所の2階で社長は多忙な日々を追われながら、「どこもやけど、後継者問題と運転手不足が悩みのタネやわ。」と溜息をついた。伊賀管内でも100社以上の同業社がある為、運転手不足は必然だそうだ。専門は建築資材の運搬ということで関西万博では大変だったようだが解体の運搬もあるので今後も忙しいそうだ。地域の経済活動を微力ながらも支えていることにやりがいを感じると言いながら、ひっきりなしの電話の対応に追われる入会18年目の福川君であった。



【編集者のひとり言】

幼い頃から幾度となくトライして、その都度挫折したからだろうか。“日記”を続けている人に憧れている。カッコ良くさえ見える。子供の夏休みの宿題の一行日記を真似て挑戦してみたがそれもダメだった。ひよんなことから、短歌と出会った。短歌の別称を三十一文字(みそひともし)という。一行日記は続かなかったが、“三十一文字日記”は、かれこれ8年ほど続いている。往生の間際に読み返すのはいつの日のことか。

